

Combi

コンビ HUGTTE (ハグッテ)

B A B Y C A R R I E R

取扱説明書



生後1ヵ月～4ヵ月



抱っこひもを3年以上ご使用の場合、生地などの経年劣化により、本来の性能を果たせず危険をまねくおそれがあります。不測の事態に備えてご使用をお控えください。

コンビ株式会社のホームページで、使いかたを動画で確認することができます。

品質保証書付



注意

- 誤った使用方法でお子さまが傷を負う可能性がありますので、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。
- 本製品を他のかたにお譲りになるときには、必ず本書もあわせてお渡しください。

もくじ

お使いいただく前に

ご使用の前に	1
安全にお使いいただくために	1
各部のなまえ	5
装着前の準備	6

タテ対面だっこ (おしりアシスト・あたまアシスト使用)

生後1ヵ月(体重3.2kg)～首すわり(4ヵ月・体重8kg)まで	
装着する	9
装着状態をチェックする	12

タテ対面だっこ (あたまアシストまたはフード使用)

首すわり(4ヵ月)～24ヵ月(体重13kg)まで	
装着する(先のせ装着)	13
装着する(後のせ装着)	15
装着状態をチェックする	17
タテ対面だっこのはずしかた	18

おんぶ (あたまアシストまたはフード使用)

首すわり(4ヵ月)～36ヵ月(体重15kg)まで	
装着する	19
装着状態をチェックする	21
おんぶのはずしかた	21

フード

フードの使いかた	22
フードの収納のしかた	22

その他

Q&A	23
SGマークの被害者救済制度	24
お手入れ	25
点検とアフターサービスについて	25
抱っこひもの『標準使用期間』について	25
品質保証書	26

ご使用の前に

このたびはHUGTTE（ハグッテ）をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本製品は、お子さまを「だっこ」や「おんぶ」をし、外気浴、買い物のときなどに使用するための1人用抱っこひもです。ご使用の前に「各部のなまえ」(5ページ)をご確認ください。

本製品を使って、お子さまを「タテ対面だっこ」「おんぶ」することができます。

タテ対面だっこ
おしりアシスト・
あたまアシスト使用
※フードは使用
できません。



タテ対面だっこ
あたまアシスト
またはフード使用



おんぶ
あたまアシスト
またはフード使用



生後1ヵ月～
4ヵ月

■ご使用の前に、品質保証書(26ページ)に次の項目を記入してください。

- ① 製品名、ロットNo. (ホルドカバー収納ポケット内側の洗濯表示ラベル裏に記載されています)
- ② お客様のお名前・ご住所・電話番号
- ③ 販売店名

■品質保証書上部のレシート貼り付け欄(26ページ)にレシート(領収書)をお貼りください。

■使用できるお子さまの月齢について

(お子さまの発育により、同じ月齢でも体格や体重には個人差があります)

使いかたのスタイル	生後 (1ヵ月)	首がすわる (4ヵ月)	適応月齢 24ヵ月 36ヵ月	限度体重
タテ対面だっこ おしりアシスト使用 あたまアシスト使用	生後1ヵ月(3.2kg)～4ヵ月			8kgまで
タテ対面だっこ おしりアシスト使用しない あたまアシストまたはフード使用	首すわり～24ヵ月まで			13kgまで
おんぶ おしりアシスト使用しない あたまアシストまたはフード使用	首すわり～36ヵ月まで			15kgまで

- ・冬場など厚着をしますと、お子さまの体格によっては使用できなくなることがあります。無理のない服装でご使用ください。
- ・使用者の腰まわりは120cmまでです。

警告

タテ対面だっこ(おしりアシスト・あたまアシスト使用)は下記に該当しないお子さまには使用しないでください。
お子さまの身体に負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。

- ・生後1ヵ月(体重3.2kg)～首すわり(4ヵ月・体重8kg)まで
- ・在胎週数37週以上
- ・出生体重2,500g以上
- ・1ヵ月検診にて異常がない
- ・呼吸器疾患などがない

安全にお使いいただくために

安全上の注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用者およびお子さまへの危害や物的損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や物的損害の大きさと危害の度合いを示すもので、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示	表示の内容
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。

☐ 枠(2～4ページ)の中に具体的な注意内容が書かれています。

⚠ 記号は警告・注意をうながす内容があることをお知らせするものです。

⚠ 警告

お子さまが開口部から落下したり、窒息など思わぬ事故につながるおそれがあります。固定箇所を確実にとめて、各部を正しく調節してください。

【とめる】

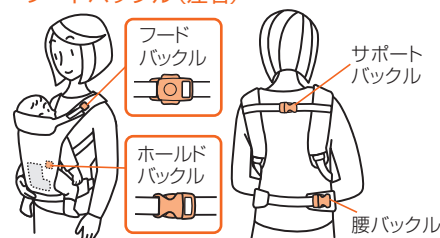
ご使用の際は、以下のバックルを必ずとめてください。とめないで使用するとお子さまが落下するおそれがあります。

とめる際は、指などをはさまないようにしてください。

●タテ対面だっこ（おしりアシスト・あたまアシスト使用）

生後1ヵ月（体重3.2kg）～首すわり（4ヵ月・体重8kg）まで

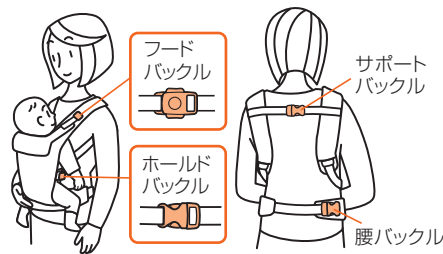
- ・ホールドバックル（つねにホールドカバー使用）
- ・サポートバックル
- ・腰バックル
- ・フードバックル（左右）



●タテ対面だっこ（あたまアシストまたはフード使用）

首すわり（4ヵ月）～24ヵ月（体重13kg）まで

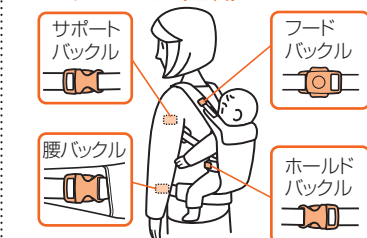
- ・ホールドバックル
- ・サポートバックル
- ・腰バックル
- ・フードバックル（左右）



●おんぶ（あたまアシストまたはフード使用）

首すわり（4ヵ月）～36ヵ月（体重15kg）まで

- ・ホールドバックル（つねにホールドカバー使用）
- ・サポートバックル
- ・腰バックル
- ・フードバックル（左右）



【調節する】

ご使用の際は、以下のベルトの長さを使用者の身体にあわせて必ず調節してください。お子さまと使用者の間にすき間が空きすぎたり、左右のベルトの長さが違うと、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。

●タテ対面だっこ（おしりアシスト・あたまアシスト使用）

生後1ヵ月（体重3.2kg）～首すわり（4ヵ月・体重8kg）まで

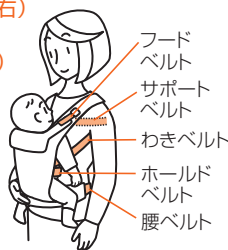
- ・フードベルト（左右）
- ・サポートベルト
- ・わきベルト（左右）
- ・ホールドベルト
- ・腰ベルト



●タテ対面だっこ（あたまアシストまたはフード使用）

首すわり（4ヵ月）～24ヵ月（体重13kg）まで

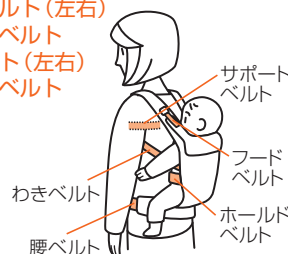
- ・フードベルト（左右）
- ・サポートベルト
- ・わきベルト（左右）
- ・ホールドベルト
- ・腰ベルト



●おんぶ（あたまアシストまたはフード使用）

首すわり（4ヵ月）～36ヵ月（体重15kg）まで

- ・フードベルト（左右）
- ・サポートベルト
- ・わきベルト（左右）
- ・ホールドベルト
- ・腰ベルト



警告

お子さまが開口部から落下したり、窒息など思わぬ事故につながるおそれがあります。固定箇所を確実にとめて、各部を正しく調節してください。

首のすわっていないお子さまをタテ対面だっこする際は、必ずおしりアシストとあたまアシストを使用してください。首がすわっていないお子さまに対しては、絶対におんぶをしないでください。お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。



生後4ヵ月以降のお子さまには、おしりアシストは使用しないでください。お子さまの予期せぬ動きに対応できず、お子さまが落下するおそれがあります。



おしりアシストはHUGTTE(ハグッテ)以外の製品では使用しないでください。お子さまが落下したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



使用中に走ったり、飛び跳ねたり45°以上の前かがみや横曲げなどの無理な姿勢はしないでください。お子さまが開口部から落下するおそれがあります。ものを拾うなどの動作でかがむ際は、必ず手でお子さまを支え、お子さまの頭が下向きにならないように膝を曲げてかがむようにしてください。



生後4ヵ月未満のお子さまは使用者の身体に顔を強く押し当てないでください。お子さまが窒息するおそれがあります。装着時はお子さまが顔を動かす余裕があるように装着してください。



お子さまの様子をつねに確認し、異常が見られたときは、すぐに使用をやめください。あごが胸につくほど首が強く曲がるなど、気道をふさぐ状態にならないよう注意してください。



お子さまの乗せおろしは、ソファやベッド、床の上など必ず安全な場所で行い、手で支えながら可能な限り低い姿勢で行ってください。人に介添えてもらうとより安全です。お子さまが落下するおそれがあります。特におんぶ時は注意してください。



家事での使用時には、前かがみによる落下、コンロなどによるヤケド、包丁などによるケガには十分注意してください。



電車、バス以外の乗り物などでは使用しないでください。お子さまの思わぬ動きで転倒するおそれがあります。自転車での使用は転倒したとき、重傷を負うおそれがあります。



だっこするときは、必ず手で支えてください。お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。



⚠ 注意

タテ対面だっこやおんぶの際、お子さまのわきの下が本体シート部にあたってしまうときには、必ずお子さまの位置を調節してください。(23ページ参照)

そのまま使用するとお子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。



タテ対面だっこやおんぶの際、腰パッドでお子さまの足をはさまないように注意してください。お子さまの足を圧迫するおそれがあります。



製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。



製品のほつれ、傷、やぶれ、バックルなどの部品が1ヵ所でも破損したときは、すぐに使用を中止してください。そのまま使用すると、事故につながるおそれがあります。



タテ対面だっこの際、お子さまの頭で前方の視界がさまたげられないようにしてください。また、足元が見えにくくなる場合がありますので歩行には注意してください。



はずした状態のバックルの開口部にお子さまが指を入れないように注意してください。すき間に指が入って抜けなくなったり、ケガをするおそれがあります。製品を使用しないときは、バックルをとめた状態でお子さまの手の届かないところに保管してください。



授乳後約30分以内の使用はしないでください。お子さまのおなかを圧迫することがあり、消化吸収を妨げるおそれがあります。



生後1ヵ月～首すわり4ヵ月(おしりアシスト・あたまアシスト使用時)は連続1時間以上の使用はしないでください。首すわり4ヵ月以降のお子さまは連続2時間以上の使用はしないでください。装着時はお子さまの体調の変化や装着状況を常に確認してください。



使用者やお子さまの体調がすぐれないときや痛み、不快を感じたときは使用を中止してください。



製品を火の近くや屋外に放置しないでください。熱や雨水などでバックルや生地などが変質し、事故につながるおそれがあります。

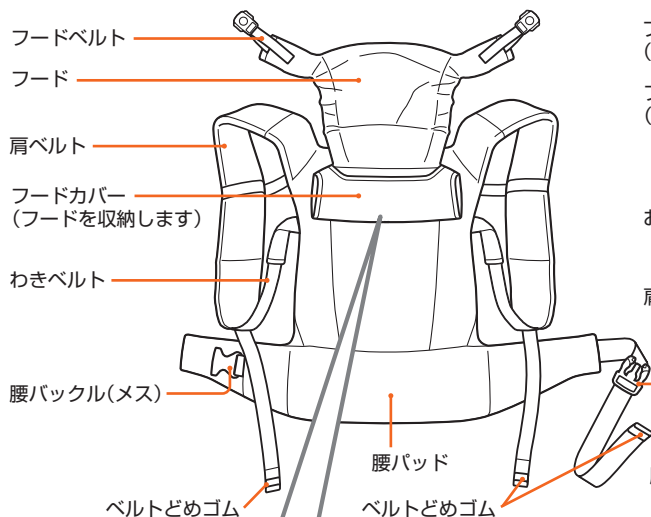


お子さまをだっこまたはおんぶする以外の目的では使用しないでください。破損・故障の原因になります。

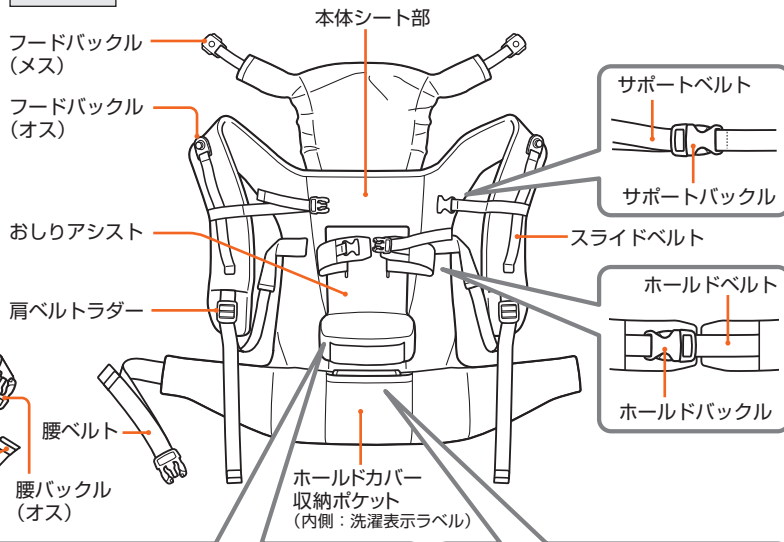


各部のなまえ

外側



内側



あたまアシスト
フードをフードカバーに収納して
フードバックルをとめ、お子さまの
頭を支えます。

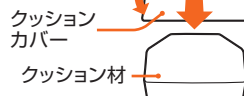


おしりアシスト

スリット
ホールドベルト
を通します。



クッション材の取り付け/取りはずし
クッションカバー
裏側のフタを開け
てクッション材を
出し入れます。



ホールドカバー
タテ対面だっこ(おし
りアシスト使用時)、お
んぶで使用します。

面ファスナー
おしりアシストのルー
プに固定します。

ホールドカバー収納ポケット
ホールドカバーを収納し
ます。



警告

クッションカバーの洗濯などで、中のクッション材を取りはずした際は、使用時にクッション材を正しく入れなおしてください。

装着前の準備

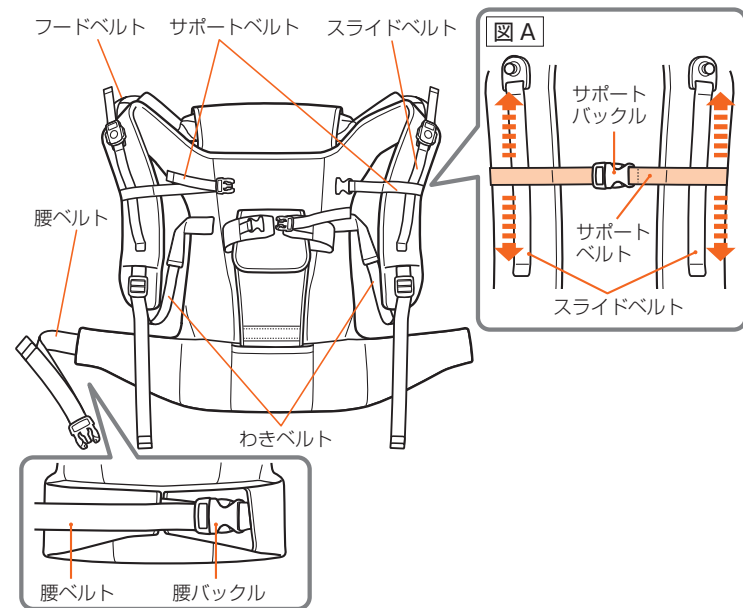
装着前にベルトの高さや長さを調節する

装着前に各ベルトの高さや長さを調節してください。調節できるベルトの位置は下図の通りです。

腰パッドがフィットするように、腰ベルトの長さを調節しておきます。サポートベルトの長さや高さも調節しておきます。

●サポートベルトの高さを調節する

左右のサポートベルトをスライドベルトに沿って上下に動かし、同じ高さに調節します。(図A参照)



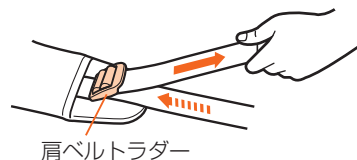
ベルトの長さを調節する

下図のようにしてベルトの長さを調節してください。

※ここでは、わきベルトのイラストで説明しています。

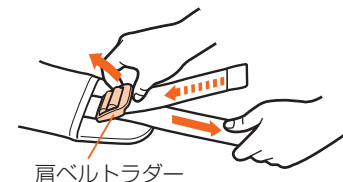
●短くするとき

ベルトのあまりを引っばる



●長くするとき

肩ベルトラダーを立てて、ベルトを引き戻す



ベルトが引きにくいときは、図のようにラダーを立てて引いてください。

ベルトは、本体を装着したままでも調節することができます。



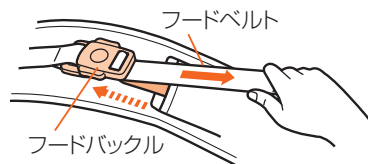
お子さまと使用者の間にすき間が空きすぎたり、左右のベルトの長さが違うと、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。

装着前の準備

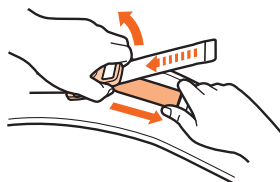
フードベルトの長さを調節する

お子さまの成長にあわせて、フードベルトの長さを調節してください。

● 短くするとき
ベルトのあまりを引っばる



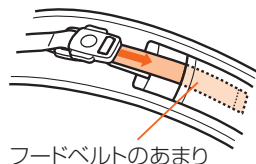
● 長くするとき
バックルを立てて、ベルトを引き戻す



ベルトが引きにくいときは、図のようにバックルを立てて引いてください。



フードベルトのあまりは図のように収納できます。

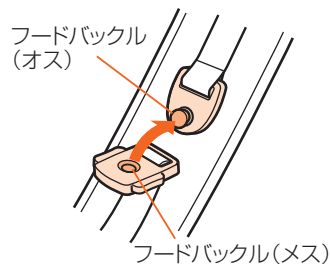


フードバックルの取り付けと取りはずし

● 取り付けるとき

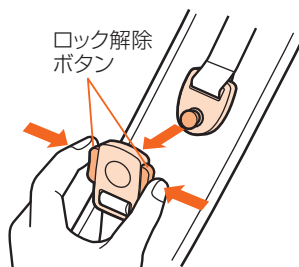
フードバックル(メス)を肩ベルトのフードバックル(オス)に上からしっかりはめ込む

『カチッ』と音がするまで押し込んでください。



● 取りはずすとき

フードバックル(メス)の左右のロック解除ボタンを押しながら上にはずす

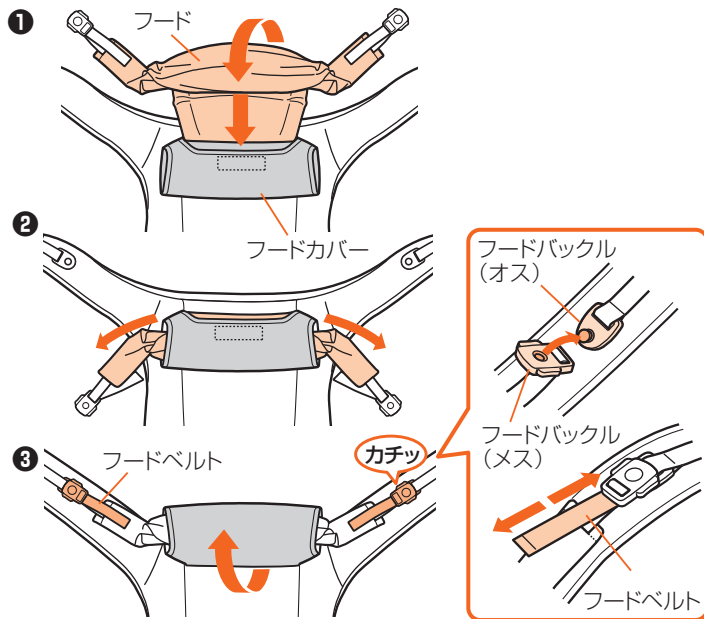


あたまアシストをセットする

装着の前にあたまアシストをセットします。

※お買い上げ時、あたまアシストは本体にセットされています。

- ① フードを折りたたみ、フードカバーに収納する。
- ② フードベルトをカバーから左右に引き出す。
- ③ フードカバーを上方に立ち上げ、フードバックル(左右)をとめる。
フードベルトを左右同じ長さに調節する。(7ページ参照)



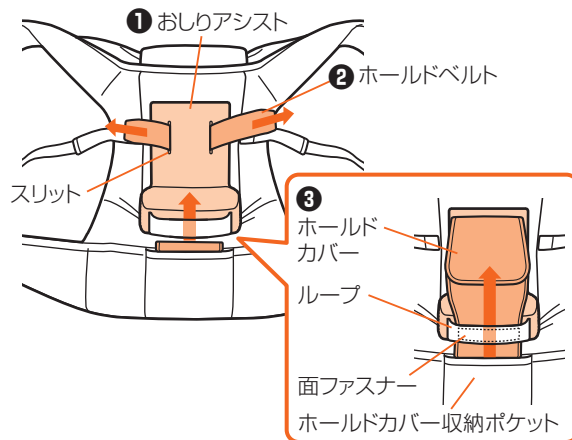
おしりアシストを取り付ける

生後1ヵ月(体重3.2kg)～首すわり(4ヵ月・体重8kg)まで

装着の前におしりアシストを本体に取り付けます。

※お買い上げ時、おしりアシストは本体に取り付けられています。

- ① 本体におしりアシストをのせる。
- ② 2ヵ所のスリットの裏側からホールドベルトを通す。
- ③ ホールドカバー収納ポケットからホールドカバーを引き出し、おしりアシストのループに通し、面ファスナーで固定する。



●取りはずすときは
取り付けの逆の手順で行ってください。

生後1ヵ月(体重3.2kg)～首すわり(4ヵ月・体重8kg)まで

タテ対面だっこで使う(おしりアシスト・あたまアシスト使用)

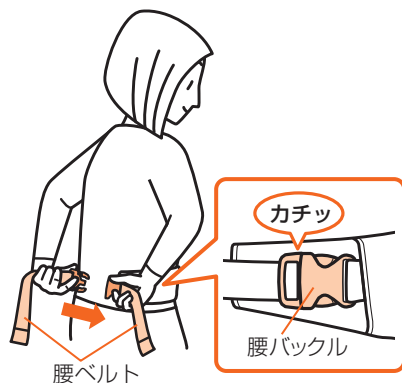
タテ対面だっこ

おしりアシスト・あたまアシスト使用

装着する

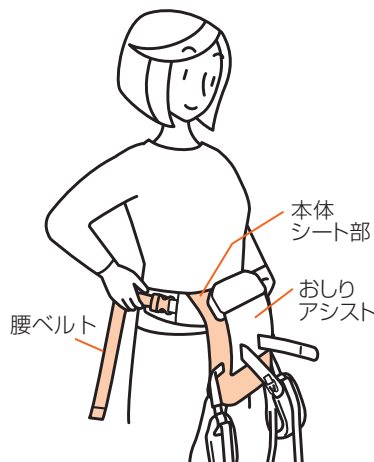
1 腰バックルをとめる

『カチッ』と音がするまで差し込んでください。



2 腰ベルトを調節し、本体シート部を正面にする

腰ベルトの調節のしかたは6ページをご覧ください。



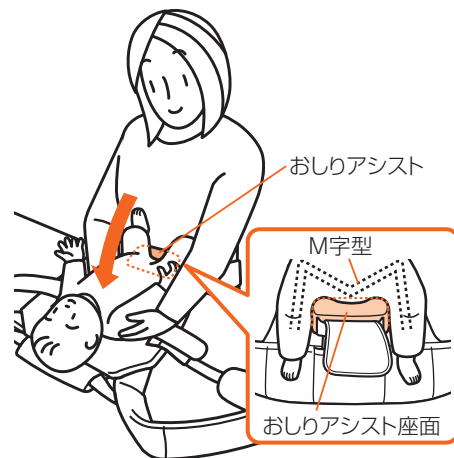
ワンポイント



腰ベルトのあまりは 図のようにベルトどめゴム
のようにはベルトどめゴムでまとめる
ことができます。



3 本体シート部を安定した場所に広げ、お子さまのおしりをおしりアシスト座面に座らせるようにあわせて寝かせる



ワンポイント



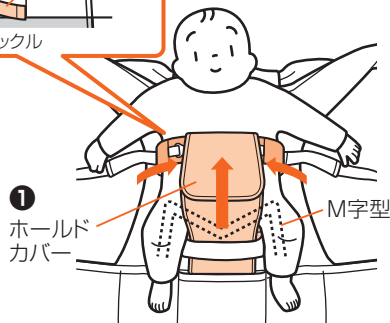
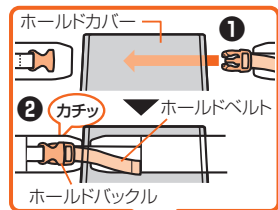
お子さまの足がM字型の姿勢になるように座させます。



お子さまの乗せおろしは、ソファやベッド、床の上など必ず安全な場所で行い、手で支えながら可能な限り低い姿勢で行ってください。お子さまが落下するおそれがあります。

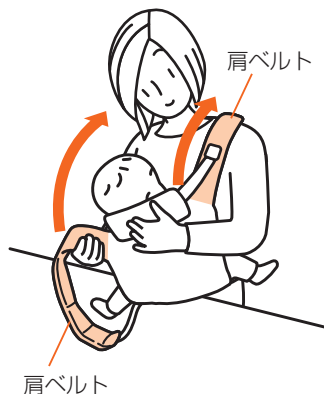
4 ホールドバックルをとめ、ホールドベルトの長さを調節する

- ① ホールドカバーの先端を伸ばし、右側のホールドベルトを通す。
- ② ホールドバックルをとめ、ベルトの長さを調節する。(お子さまとホールドベルトの間に、指が2本入る程度に調節してください。)



ホールドバックルは確実にとめてください。とめないで使用すると、お子さまが落下するおそれがあります。

5 お子さまの足を広げ、頭と身体を支えながら、左右の肩ベルトを肩にかける

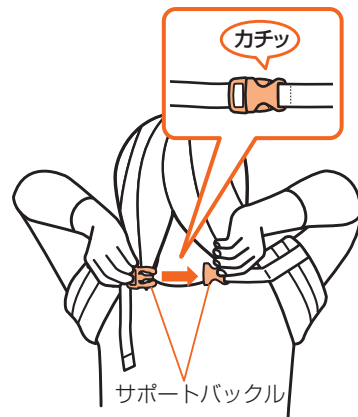


警告

- 装着時はお子さまを必ず手で支えてください。お子さまが落下するおそれがあります。
- 腰パッドでお子さまの足をはまないように注意してください。

6 首の後ろでサポートバックルをとめる

サポートベルトの長さとお子さまの首の高さを適切に調節してください。



警告

サポートバックルをとめる際は、お子さまが落下しないよう注意し、サポートバックルを確実にとめてください。とめないで使用すると、お子さまが落下するおそれがあります。

生後1ヵ月(体重3.2kg)～首すわり(4ヵ月・体重8kg)まで

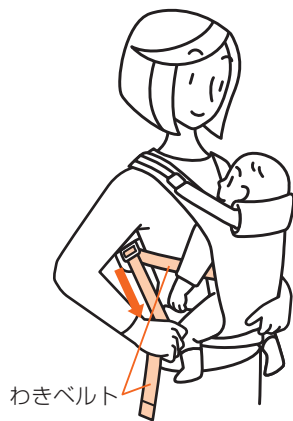
タテ対面だっこで使う(おしりアシスト・あたまアシスト使用)

タテ対面だっこ

おしりアシスト・あたまアシスト使用

7 わきベルトを調節し、使用者の身体にフィットさせる

わきベルトのあまりは左右同じ長さになるように調節してください。
わきベルトの調節のしかたは6ページをご覧ください。



ワンポイント



わきベルトのあまりは図のようにベルトどめゴムでまとめることができます。

ベルトどめゴム



8 お子さまの頭を支えるようフードベルトを調節する(あたまアシスト機能)

※ フードベルトの調節のしかたは7ページをご覧ください。



警告

生後4ヵ月末満のお子さまはフードの使用はできません。

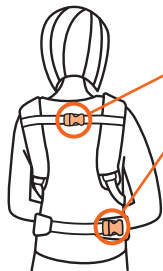
装着状態をチェックする

鏡などに姿を映し、装着の状態を最適な状態にしてください。

チェックポイント



- ☒ お子さまの頭があたまアシストで支えられていますか？
- ☒ お子さまが頭を動かす余裕はありますか？
- ☒ ホールドカバー・ホールドバックルが確実にとまっていますか？
- ☒ お子さまのおしりがおしりアシスト座面の中央に座るように乗っていますか？
- ☒ お子さまの足が広がり、足が M 字型の姿勢になっていますか？
- ☒ お子さまの足が腰パッドにはさまっていませんか？
- ☒ お子さまのわきやもも、ひざ裏が本体シート部に圧迫されていませんか？



- ☒ サポートバックルが確実にとまっていますか？
- ☒ 腰バックルが確実にとまっていますか？
- ☒ 各ベルトの長さを使用者の身体にフィットするように調節していますか？
- ☒ わきベルトとフードベルトの左右の長さはあっていますか？
- ☒ 各ベルトがねじれていませんか？

※タテ対面だっこのはすしかたは 18 ページをご覧ください。



警告

チェックポイントを守らないと、
 ・お子さまが落下するおそれがあります。
 ・お子さまが窒息したり、こすれや傷を負うおそれがあります。
 ・お子さまのわきやもも、ひざ裏がうっ血するおそれがあります。



注意

お子さまの頭で前方の視界がさまたげられないように調節してください。
 また、足元が見えにくくなることがありますので、歩行には注意してください。

首すわり(4ヵ月)～24ヵ月(体重13kg)まで

タテ対面だっこで使う(あたまアシストまたはフード使用)

装着する - 先のせ装着 ※先のせ装着はお子さまをより安定した状態で装着できます。

先にお子さまを本体に乗せ、ホールドバックルをとめてからだっこします。

※装着の際、おしりアシストを取りはずしてください。また、ホールドカバーを収納ポケットに収納してください。

※おしりアシストの取りはずしかたは、8ページをご覧ください。

1 腰バックルをとめる

『カチッ』と音がするまで差し込んでください。



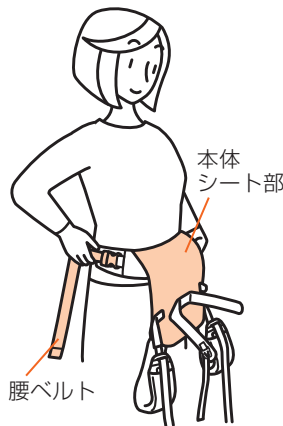
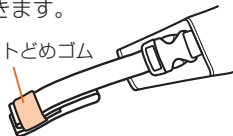
2 腰ベルトを調節し、本体シート部を正面にする

腰ベルトの調節のしかたは6ページをご覧ください。

ワンポイント

腰ベルトのあまりは図のようにベルトどめゴムでまとめることができます。

ベルトどめゴム



3 本体シート部を安定した場所に広げ、お子さまを乗せる

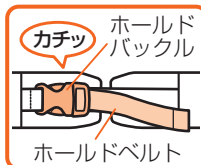
警告

お子さまの乗せおろしは、ソファやベッド、床の上など必ず安全な場所で行い、手で支えながら可能な限り低い姿勢で乗せおろしてください。お子さまが落下するおそれがあります。



4 ホールドバックルをとめ、ベルトの長さを調節する

(お子さまとホールドベルトの間に、指が2本入る程度に調節してください。)



警告

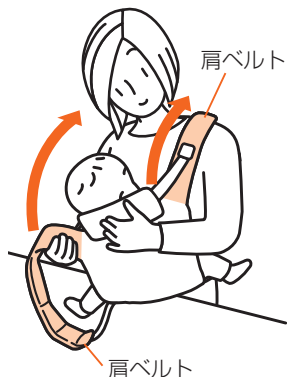
ホールドバックルは確実にとめてください。とめないで使用する、お子さまが落下するおそれがあります。



5 お子さまの足を広げ、頭や身体を支えながら、左右の肩ベルトを肩にかける



- 装着時はお子さまを必ず手で支えてください。お子さまが落下するおそれがあります。
- 腰パッドでお子さまの足をはさまないように注意してください。



7 わきベルトを調節し、使用者の身体にフィットさせる

わきベルトの調節のしかたは6ページをご覧ください。

ワンポイント

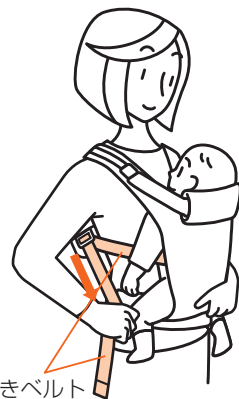


わきベルトのあまりは図のようにベルトどめゴムでまとめることができます。



ベルトどめゴム

わきベルト

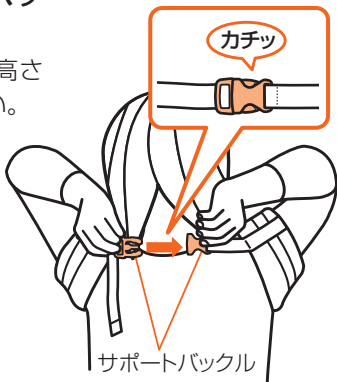


6 首の後ろでサポートバックルをとめる

サポートベルトの長さとお子さまの首の後ろでサポートバックルをとめる高さを適切に調節してください。



サポートバックルをとめる際はお子さまが落下しないよう注意し、サポートバックルを確実にとめてください。
とめないで使用すると、お子さまが落下するおそれがあります。

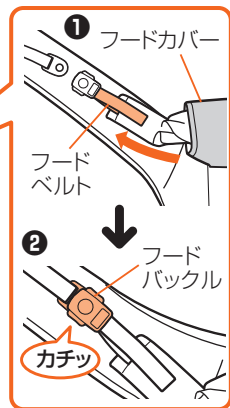


8 フードベルトでお子さまの頭や身体を支えるように調節する(あたまアシスト機能)

※ フードベルトの調節のしかたは7ページをご覧ください。

※ 体格によっては、お子さまの頭があたまアシストより高い位置になります。

※ フードとして使用する場合は22ページをご覧ください。



首すわり(4ヵ月)～24ヵ月(体重13kg)まで

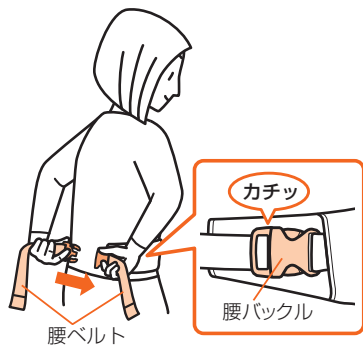
タテ対面だっこで使う(あたまアシストまたはフード使用)

装着する - 後のせ装着

先に本体を使用者の身体に取り付け、お子さまをだっこしてからホールドバックルをとめます。

1 腰バックルをとめる

『カチッ』と音がするまで差し込んでください。



2 腰ベルトを調節し、本体シート部を正面にする

腰ベルトの調節のしかたは6ページをご覧ください。



3 お子さまを支えながら抱き上げ、本体シート部に乗せる



ワンポイント



腰ベルトのあまりは図のようにベルトどめゴムでまとめることができます。



お子さまのませおろしは、ソファやベッド、床の上など必ず安全な場所で行い、手で支えながら可能な限り低い姿勢で行ってください。お子さまが落下するおそれがあります。

4 お子さまの頭や身体を支えながら、左右の肩ベルトを肩にかける



装着時はお子さまを必ず手で支えてください。お子さまが落下するおそれがあります。

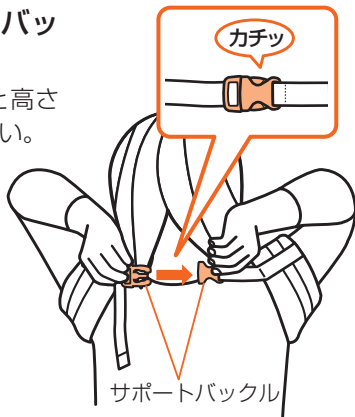


5 首の後ろでサポートバックルをとめる

サポートベルトの長さや高さを適切に調節してください。



サポートバックルをとめる際はお子さまが落下しないよう注意し、サポートバックルを確実にとめてください。とめないで使用すると、お子さまが落下するおそれがあります。



6 ホールドバックルをとめ、ベルトの長さを調節する



ホールドバックルは確実にとめてください。とめないで使用すると、お子さまが落下するおそれがあります。



7 わきベルトを調節し、使用者の身体にフィットさせる

わきベルトの調節のしかたは6ページをご覧ください。



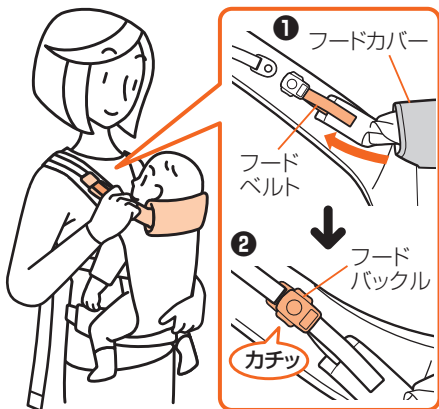
わきベルトのあまりは図のようにベルトどめゴムでまとめることができます。



タテ対面だっこで使う(あたまアシストまたはフード使用)

8 お子さまの頭を支えるようにフードベルトを調節する(あたまアシスト機能)

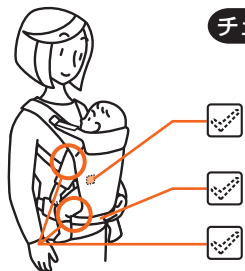
- ※ フードベルトの調節のしかたは7ページをご覧ください。
- ※ 体格によっては、お子さまの頭があたまアシストより高い位置になります。
- ※ フードとして使用する場合は22ページをご覧ください。



装着状態をチェックする

鏡などに姿を映し、装着の状態を最適な状態にしてください。

チェックポイント



- ☒ ホールバックルが確実にとまっていますか？
- ☒ お子さまの足が腰パッドにはさまっていませんか？
- ☒ お子さまのわきやもも、ひざ裏が本体シート部に圧迫されていませんか？



- ☒ サポートバックルが確実にとまっていますか？
- ☒ 腰バックルが確実にとまっていますか？
- ☒ 各ベルトの長さを使用者の身体にフィットするように調節していますか？
- ☒ わきベルトとフードベルトの左右の長さはあっていますか？
- ☒ 各ベルトがねじれていませんか？



警告

- チェックポイントを守らないと、
- お子さまが落下するおそれがあります。
 - お子さまが窒息したり、こすれや傷を負うおそれがあります。
 - お子さまのわきやもも、ひざ裏がうっ血するおそれがあります。



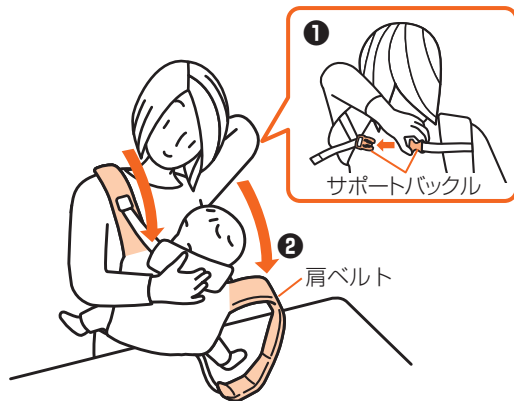
注意

お子さまの頭で前方の視界がさまたげられないように調節してください。
また、足元が見えにくくなる場合がありますので、歩行には注意してください。

タテ対面だっこのはずしかた

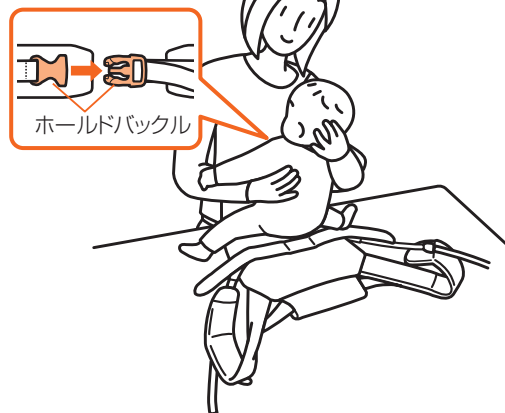
安全な場所ではずすようにしてください。

- 1 お子さまを支えながら、
 - ①サポートバックルをはずす
 - ②左右の肩ベルトをはずす



サポートバックルをはずすときは、肩ベルトが急にはずれるおそれがありますので、注意してはずしてください。

- 2 ホールドバックルをはずし、お子さまをおろす



- 3 腰バックルをはずす



お子さまの乗せおろしは、ソファやベッド、床の上など必ず安全な場所で行い、手で支えながら可能な限り低い姿勢で行ってください。

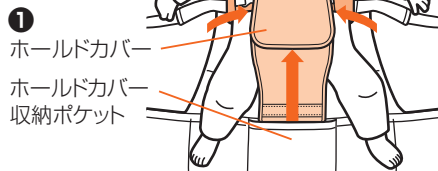
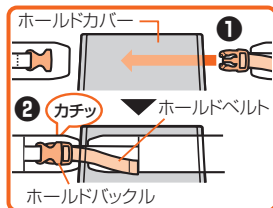
おんぶで使う(あたまアシストまたはフード使用)

装着する

先にお子さまを本体に乗せてから背負います。

1 ホールドカバー収納ポケットから ホールドカバーを取り出す

- ① お子さまを本体シート部に乗せ、図のようにホールドカバーにホールドベルトを通す。
- ② ホールドバックルをとめ、ベルトの長さを調節する。(お子さまとホールドベルトの間に、指が2本入る程度に調節してください。)

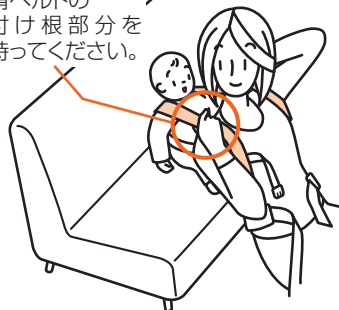


- ・お子さまの乗せおろしは、ソファやベッド、床の上など必ず安全な場所で行い、手で支えながら可能な限り低い姿勢で行ってください。
- ・ホールドバックルを確実にとめてください。とめないで使用するとお子さまが落下するおそれがあります。

2 お子さまを背負う

お子さまを乗せて立ち上がるときは、肩ベルトの付け根部分をしっかり持ってください。

肩ベルトの
付け根部分を
持ってください。

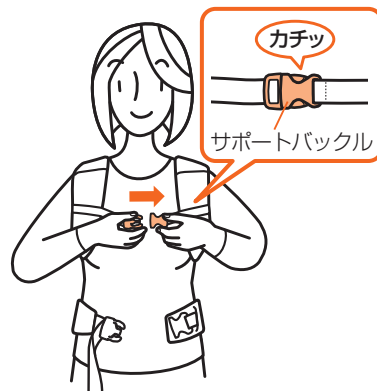


図のように、他の人にお子さまを支えてもらいながら立ち上がると、より安全です。



3 サポートバックルを とめる

サポートベルトの長さとお子さまの身長を適切に調節してください。



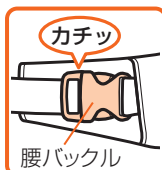
4 腰バックルをとめる

『カチッ』と音がするまで差し込んでください。



警告

腰パッドでお子さまの足をはさまないように注意してください。
お子さまの足がうっ血するおそれがあります。



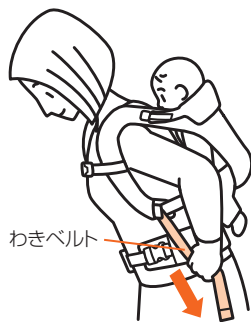
5 わきベルトを調節し、使用者の身体にフィットさせる

わきベルトの調節のしかたは6ページをご覧ください。

ワンポイント



わきベルトのあまりは図のようにベルトどめゴムでまとめることができます。

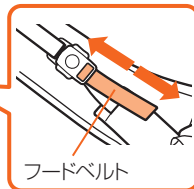


6 フードベルトでお子さまの頭や身体を支えるように調節する(あたまアシスト機能)

※ フードベルトの調節のしかたは7ページをご覧ください。

※ 体格によっては、お子さまの頭があたまアシストより高い位置になります。

※ フードとして使用する場合は22ページをご覧ください。



ワンポイント



フードベルトの調節がしにくい場合は、他の人に手助けをお願いして調節してください。

ワンポイント



おんぶのときは約30分ごとにお子さまの様子を確認してください。

おんぶしているときは使用者からお子さまが見えませんが、特に低月齢のお子さまの場合は、約30分ごとにお子さまをおろして様子を確認するように心がけてください。

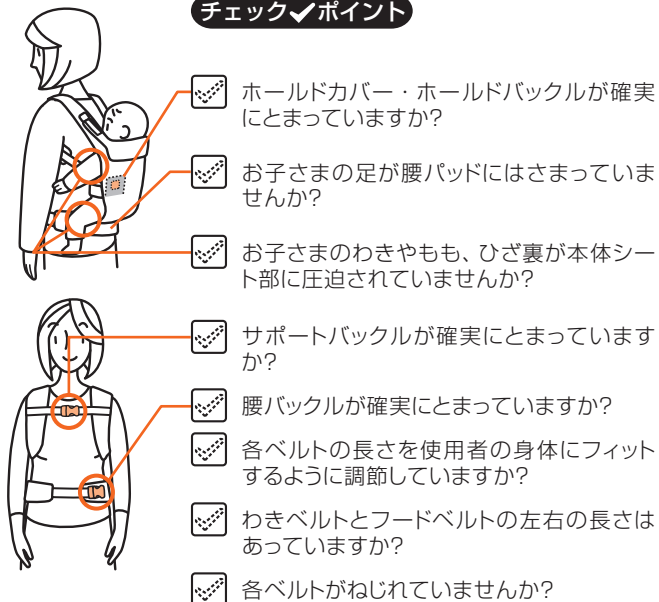
首すわり(4ヵ月)～36ヵ月(体重15kg)まで

おんぶで使う(あたまアシストまたはフード使用)

装着状態をチェックする

鏡などに姿を映し、おんぶの状態を最適な状態にしてください。

チェック✓ポイント



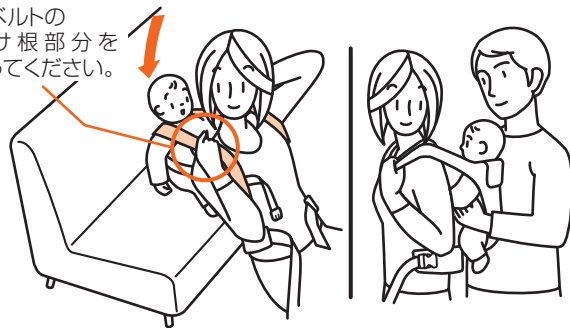
チェックポイントを守らないと、

- ・お子さまが落下するおそれがあります。
- ・お子さまが窒息したり、こすれや傷を負うおそれがあります。
- ・お子さまのわきやもも、ひざ裏がうっ血するおそれがあります。

おんぶのはずしかた

- 1 お子さまを安全な場所におろし、サポートバックルをはずし、腰バックルをはずす
- 2 左右の肩ベルトをはずし、お子さまをおろす
図のように、他の人にお子さまを支えてもらいながらおろすとより安全です。

肩ベルトの
付け根部分を
持ってください。



- 3 ホールドバックルとホールドカバーをはずす



お子さまの乗せおろしは、ソファやベッド、床の上など必ず安全な場所で行い、手で支えながら可能な限り低い姿勢で行ってください。

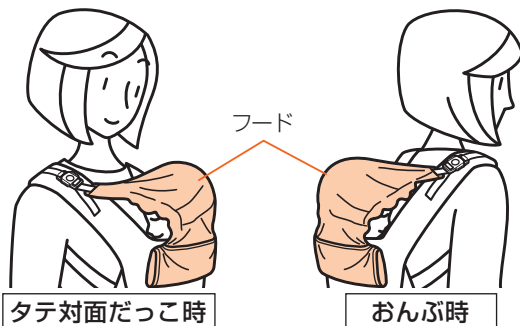
フードの使いかた

タテ対面だっこ・おんぶ時にお子さまが寝てしまった際に頭を支えることができます。また、風よけや日よけとしても使用できます。

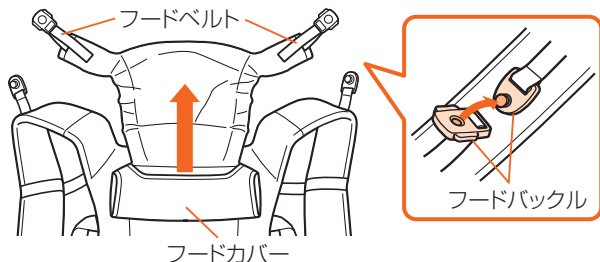
※フードは生後4ヵ月未満のお子さまには使用できません。

フードの使いかた

使いかたにあわせて、フードをお使いください。

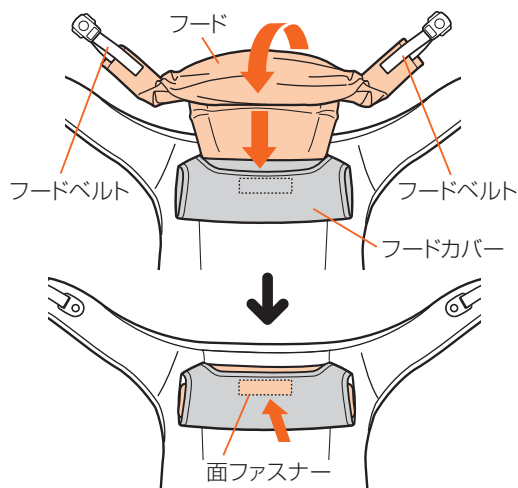


- ① 左右のフードバックルをはずす。
- ② フードカバーからフードとフードベルトを引き出す。
- ③ 左右のフードバックルをとめる。
フードベルトの長さを調節する。(7ページ参照)



フードの収納のしかた

フードを図のように折りたたみ、フードベルトといっしょにフードカバーに収納し、面ファスナーでとめる。

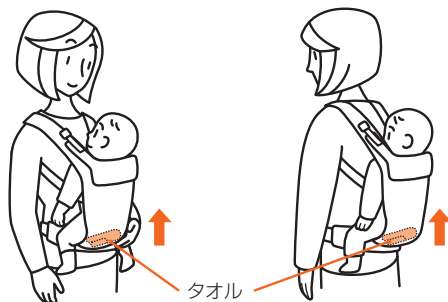


警告

- ・生後4ヵ月未満のお子さまは特に様子の確認が必要なため、フードの使用はできません。
- ・フードを使用する際は、お子さまの状態に注意しながら使用してください。気道がふさがると窒息するおそれがあります。
- ・お子さまが成長し、フードがきつくなった場合は使用をやめください。お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷を負うおそれがあります。

Q 【首すわり(4ヵ月)以降】
子どものわき・もも・ひざ裏が本体シート部にあたり、赤くなった気がします。

A 下図の場所に折りたたんだタオルを入れ、お子さまのおしりの高さを調節し、本体シート部があたらないようにしてください。
※おしりアシストは使用しないでください。

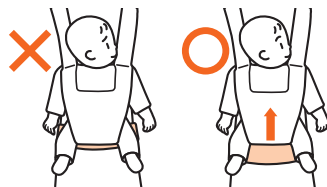


Q 【首すわり(4ヵ月)以降】
タテ対面だっこ、おんぶ時に子どもが埋もれて見えません。

A 上図の場所に折りたたんだタオルを入れることで高さを調節することができます。

Q タテ対面だっこ、おんぶ時に肩に負担がかかります。

A ● 使用者の身体にフィットさせてください。
● 腰パッドにすき間がないか確認してください。
すき間がある場合はベルトを締めなおしてください。
● お子さまのおしりの位置が腰パッドより高くなるように調節してください。



● 肩ベルトの長さや、腰パッドの位置を調節しなおしてください。またはお子さまの位置を調節してください。

Q タテ対面だっこ、おんぶ時に密着感が足りない気がします。

A わきベルト、サポートベルトを短く調節することで、密着感を高めることができます。

▶ ベルトの長さの調節方法は6ページをご覧ください。

SG マークの被害者救済制度

SG マーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、製品安全協会が事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施する制度です。

抱っこひもの場合は、お買い上げ日より 3 年以内が有効期間となります。

●賠償についてのご注意

認定された製品そのものが故障したとしても、その品質について保証するものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害(人的損害)について賠償する制度です。



●製品の欠陥により事故が起きた場合

損害を被った消費者（お子さまなどの場合は、保護者）が、事故発生日から 60 日以内に下記までご連絡願います。

一般財団法人 製品安全協会

東京都台東区竜泉 2 丁目 20 番 2 号

ミサワホームズ三ノ輪 2 階

TEL.(03)5808-3303

●事故の届出に必要な項目

- ① 事故の原因となった製品現品
・製品名称、ロット No. ・購入先、購入年月日
- ② 事故発生の状況
・事故発生日年月日 ・事故発生場所 ・事故発生状況
- ③ 被害の状況
・被害者の氏名、年齢、性別、住所 ・被害の状況

Q タテ対面だっこ、おんぶ時に腰パッドが折れ曲がり、使用者の身体の間にすき間ができてしまいます。

A 腰ベルトがゆるい状態でタテ対面だっこ、おんぶをすると、すき間ができ腰パッドが折れ曲がる場合があります。腰ベルトの長さを短く調節して、腰パッドと使用者の身体の間にすき間ができないようにしてください。



その他

お手入れ

- 洗濯は水、またはぬるま湯で押し洗いし、よくすすぎ形を整えて陰干ししてください。
- 軽い汚れの場合は、湿らせた布でたたいて落としてください。
- クッション材が汚れたときは水洗いし、よく水気をふき取ってください。

お手入れの注意

- 色落ちすることがありますので、他の洗濯物とは別に洗ってください。また、つけ置き洗い、漂白剤も避けてください。特にフードやフードカバーは綿素材のため、洗濯をくりかえすことで変色(色落ち)することがあります。
- 洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。漂白剤・蛍光増白剤入りの洗剤は肌あれ、湿疹などの原因となりますので使用しないでください。
- 洗濯機、脱水機、乾燥機の使用はしないでください。バックルなどの破損につながるおそれがあります。
- 洗濯方法、生地素材については、製品本体に縫製されております洗濯表示ラベルをご参照ください。
- おしりアシストを洗濯する際は、クッション材を取りはずしてください。使用時はクッション材を正しく入れてください。(5ページ参照)



お子さまのよだれなどが生地に付きますと、生地がかたくなる場合がありますのでその際には早めに洗濯してください。
かたくなった生地でお子さまの肌を傷つけるおそれがあります。

点検とアフターサービスについて

- ご使用の際には、製品のほつれ、傷、やぶれ、バックルなど部品の破損がないか、確認してください。



上記を1ヵ所でも見つけたときには、すぐに使用を中止してください。
そのまま使用すると、故障や事故につながるおそれがあります。

- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ご使用中に抱っこひもの破損、異常、やぶれ、ほつれなどが発生した場合や、部品の交換または修理が必要な箇所を発見した場合、ただちに使用を中止して当社コンシューマープラザにご連絡ください。そのまま使用しますと、重大な事故につながるおそれがあります。
お問い合わせの際は、ホールドカバー収納ポケット内側の洗濯表示ラベル裏をご覧ください。製品名・ロットNo.をお知らせください。
- 本製品の修理/部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があります。色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。製品使用上は差しつかえありません。

抱っこひもの『標準使用期間』について

抱っこひもの『標準使用期間』は「新規購入後3年」です。
標準使用期間を経過した場合、材料の経年劣化により、本来の性能を果たせず危険をまねくおそれがあります。不測の事態に備えてご使用をお控えください。

- 新規購入日を記録するために、販売店発行のレシート(領収書)と取扱説明書を必ず保管してください。
- 標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管条件により故障する場合があります。この期間の品質を保証するものではありません。また、使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。
品質保証書に記載している「お買い上げ日より1年間」の保証期間を過ぎた場合の修理は有償となります。
- ご使用の際には、製品のほつれ、傷、やぶれなど部品の破損がないか、確認してください。

レシート(領収書)貼り付け欄

品質保証書 コンビ 抱っこひも

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社コンシューマーブラザ、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

製品名	ロットNo.		保証期間 お買い上げ日より1年間 (ただし保証規定による)
	(ホールドカバー収納ポケット内側にある 洗濯表示ラベル裏の番号)		
お客様	お名前		お買い上げ日 年 月 日
	ご住所 〒 TEL		
販売店	店名 TEL		住所
	住所		

修理メモ

保証規定

1. 一度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
2. 保証期間内（お買い上げ日より1年間）に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。電話にてお問い合わせの上、当社コンシューマーブラザにお送りください。
3. 保証期間内でも次のようなものは有料修理になります。
 - (a) プラスチック部品の自然劣化による変色。
 - (b) 縫製品の傷ややぶれ、変色。
 - (c) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
 - (d) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障及び損傷。
 - (e) 本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字を書き換えられた場合。
 - (f) 本書のご提示がない場合。
 - (g) 一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合。
 - (h) 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは致しかねます。
5. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。

- お買い上げ後、製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。
- 万一故障が生じた場合は保証書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社コンシューマーブラザ、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 品質保証書にご記入いただいた個人情報は、故障・修理の確認、修理品の発送にのみ利用いたします。それ以外の用途には利用いたしません。

その他

コンビ株式会社

■ ホームページ www.combi.co.jp
■ オンラインショップ(部品購入窓口) shop.combi.co.jp

製品・部品に関するお問い合わせ、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)

受付時間：9:30～17:00 (日祝日、年末年始を除く)

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271

■総合受付(各種ご相談)窓口 製品に関するお問い合わせ/修理のご依頼/各種ご相談/その他

TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

■部品相談受付窓口 部品に関するお問い合わせ

TEL. (048) 797-1001 FAX. (048) 798-6109

コンシューマープラザ (Customer Service Center) /西日本担当

受付時間：10:00～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-4-16

TEL. (06) 6942-0379 FAX. (06) 6942-0302

*コンシューマープラザホームページ www.combi.co.jp/soudan